



碧南ロータリークラブ週報

第2882回例会 平成30年9月18日(火)

- 会長 鈴木 健三
- 幹事 角谷 修
- 会場監督(SAA) 栗津 康之

2018-2019 年度 国際ロータリーのテーマ

- 例会日 毎週水曜日 12:30
- 例会場 碧南商工会議所ホール
- 事務局 碧南商工会議所内 〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町 90
- TEL<0566>41-1100 FAX<0566>48-1100
- ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp>
- E-mail: info@hekinan-rc.jp



インスピレーションになるう

- 会報委員 岡本彰人・鈴木きよみ・小笠原良治・新美真司

● 斉 唱

国歌「君が代」
ロータリーソング「奉仕の理想」

● 本日のお弁当

衣浦グランドホテル

● 本日のお客様

第2760地区 ガバナー 村井總一郎様 (豊橋RC)
 第2760地区 地区幹事 佐々木利政様 (豊橋RC)
 西三河分区ガバナー補佐 寺部保美様 (三河安城RC)
 刈谷RC 玉川愛朗君、中林久美君、加藤正則君、山下雅則君、田上 武君、橘 典子君
 高浜RC 名倉隆司君 知立RC 宮谷和憲君、天野光宏君 半田RC 石川宏之君
 半田南RC 間瀬 正君 岡崎南RC 小川哲正君、宇津木達也君

歓迎の辞 及び 会長挨拶

皆さん、こんにちは。いよいよ今日は、高浜 RC 及び碧南 RC さんとの合同で村井總一郎ガバナーをお迎えしてのガバナー公式訪問ということで、先程色々お話を伺いまして、今は肩の荷が下りたなと思っております。それと、前に私の卓話でお話しさせていただきましたけども、ゴングを見てください。黄金のゴングです。今年度の RI からということで、黄金のゴングが 2760 地区に届きました。重さが本体で 8kg、他の色々なものも合わせると 10 何 kg ということで、佐々木幹事が台車に乗せて運んでいただきました。私は緊張して叩いたのですが、いつもとは違う音色をしていましたでしょうか。



鈴木康博 高浜 RC 会長

さて、本来でしたらガバナー公式訪問の前にガバナー補佐訪問をする訳ですけども、高浜

RCは台風21号の影響でできませんでした。ガバナー補佐は、「嵐を呼ぶ女」とおっしゃられていましたが、私も色々なんだかんだ持っているかなと感じています。

この2760地区の西三河分区には9クラブあるのですが、その中に刈谷を親クラブとした場合、碧南RC、高浜RC、知立RC、刈谷RCの4クラブがございます。その4クラブの今年度の会長の名前が全て「鈴木」です。碧南が鈴木健三さん、刈谷が鈴木文三郎さん、知立が鈴木民也さん、私が鈴木康博と申します。鈴木会長と呼ぶと4人が振り向くと思いますけども、我々なりに識別をしようと思っておりまして、長男が鈴木健三さんです。私が年齢的に次男になりまして、三男が刈谷の鈴木文三郎さん、四男が知立の鈴木民也さんということで、皆様方、また何らかの形で4クラブが会うことがあると思います。そういうのを意識していただければ、少し見方も変わるかなと思います。

最後になりますけども、高浜は今年度創立50周年を迎えております。34名ということで、碧南さんと比べて非常に少ないですが、50周年に対する思いは全員参加で一致しております。高浜なりに身の丈に合った50周年を行っていきたいと思います。皆様方、色々こういう機会があると思いますが、その時はよろしく願いしたいと思います。

それでは、私の挨拶を終わらせていただきます。ありがとうございました。

皆さん、こんにちは。グッドアフタヌーン。準2級じゃダメですか。ご紹介いただきました本年度碧南の会長をやっております鈴木健三でございます。と言いましても、高浜の方はほとんど知らないと思いますので、ごくごく簡単な自己紹介をしたいと思います。



鈴木健三会長

まず、吉浜駅前で数年前まで営業しておりました「なかへいまんじゅう」というのがあります。その饅頭屋さんが私の父の母の親戚になります。そして、今年度碧南RCに入会致しました長田一希君も親戚になりますので、その辺のそこは2人をよろしく願い申し上げます。

さて、本日はガバナー公式訪問ということで、一年に一度はこうして高浜の皆さんと必ずお会いできる訳なんですけど、数年前、明治村でのお茶会の席で高浜のメンバーさんが交換学生の方を連れて参加されているのに遭遇致しました。私その時、会長になると思っていなかったんで、挨拶もそこそこでお別れしました。その方は国際交流の担当だったと思うんですが、お茶席が終わった後も明治村をきちんと丁寧にご案内されておりました。心当たりのある方は私にご連絡ください。そこで思ったことなんですけど、日本を紹介するには、第2760地区内にある明治村というのは、大変適しているのではないかと考えております。海外の方をご案内する時は私の大好きなSLもありますので、明治村をお薦め致します。

本年度は高浜さんが50周年、そして我々碧南が60周年を迎える訳ではありますが、切磋琢磨しながらこの際、村井ガバナーの言っておられます「あなたの街でロータリーを！あなたの街からロータリーを！」の地区活動方針を全面的に頂戴致しまして、地域社会との繋がりを深めていこうではありませんか。更に「ロータリーの奉仕の理念を学び、奉仕の実践をし

よう」というガバナーのお言葉もありますので、私の今年の方針「夢と奉仕の精神を共有できる会員を増やす」がこれにピッタリ合い、無条件で取り入れさせていただきます。

本日は村井ガバナーの様々なクラブを見てきた上での俯瞰されたお話と、高浜さんの事業内容を勉強させていただいて、私のあと 10 ヶ月程の活動に活かさせていただこうと考えております。

本日は我々碧南一同もよろしくお願い致します。

委員会報告

<出席奨励委員会>

総会員数 72 名 (内出席免除者 19 名の内出席者 11 名) 出席者 53 名	
出席対象者 53/64 名	出席率 82.81%
欠席者 19 名(病欠者 0 名)	前々回修正出席率 100%

※十週連続出席率 100%の場合は記念品を差し上げます。

<ニコボックス委員会>

- 鈴木 並生君 暑い夏もすぎ、体調も戻って来ました。これからもよろしく。
- 奥津 順司君 本日はご利用、誠にありがとうございます。
- 岡本 耕也君 先日の岡信ダリア会ゴルフコンペにおいて、会長の角谷信二さんには実力でははるかに及ばなかったのですが、ハンディにめぐまれ優勝させて頂きました。
- 長田 康弘君 ゴルフ遠征では、木村徳雄さん、角谷信二さん、藤関孝典さん、岡本耕也さん、杉浦栄次さんに大変お世話になりました。おかげさまで優勝できました。ありがとうございました。

ガバナー公式訪問

第 2760 地区ガバナー 村井總一郎様

只今、ご紹介いただきました今年度ガバナーを務めております豊橋 RC の村井と申します。よろしくお願い致します。まずは今日こうやって多くの方に集まっていただきまして、本当に

ありがとうございます。更にそこに旗がありますけども、高浜さんが 50 周年、碧南さんが 60 周年を迎えられるということで、めでたい組み合わせだなというふうに思っております。

今日はガバナー公式訪問としてやって参りました。私は RI の一員ですので、ガバナーの役目としてこれを皆さんにお伝えに来たという訳でございます。前座ではありませんけども、嵐の日に寺部さんがこちらに来られたということがありまして、碧南の方は無事だったとい



村井總一郎様

うふうに思っておりますけども、高浜の方は大変な思いをされたかと思えます。ですから、補佐が喋られた部分と私が喋る部分で重なる所があると思えます。そこは重要だということで、お許し願いたいなと思っております。

2018-19年度 RI 会長バリー・ラシンさんは中米のカリブの方でございます。このバリー・ラシンさんは元々 RI 会長ではなくて、アフリカのウガンダのサムエル・ウォールさんという方がやる予定でした。ところが、ウォールさんが病気で入院してしまい、入院したら治らずにそのまま別の世界に逝かれてしまったので、急にバリー・ラシンさんが会長になりました。ですから、私がエレクトの時の 1 月にサンディエゴの国際協議会でテーマが発表されるんですけども、その数ヶ月前だったもんですからテーマが間に合うのかなと思っていたら出てきたのが「インスピレーションになろう」でした。

さて、今ここで喋っているのが村井總一郎という豊橋 RC の今年度ガバナーだということはわかるかと思えます。去年のガバナーはどなたかというのもわかるかと思えます。ですが、去年の RI 会長の名前と国とテーマをと聞かれると半分くらいの方が下を向かれると思えます。イアン・ライズリーさんでオーストラリアの方です。オーストラリアは砂漠で木が無いからみんな一人一本ずつ木を植えたら、もっと環境に良くなるのではないかという発想をされました。日本のようにこれだけ木のある国でも一人一本ずつ植えましょうということで、皆さん大変苦労されたかと思えます。今年のラシンさんは何にも言われないので助かっております。テーマは「ロータリー：変化をもたらす」で、ロータリーが地域で活動することによって、地域社会に変化をもたらすということを言われたのだと思えます。それを受けて、バリー・ラシンさんは変化をもたらすにはロータリアンは何をすれば良いかということで、このテーマになったのだと思えます。

以下がバリー・ラシン RI 会長のメッセージであります。

一番大切なのは、前向きな変化を生み出し、私たちが今日直面する課題に勇気と希望、そして創造性をもって正面から立ち向かう意欲を、クラブ、地域社会、そして組織全体から引き出すための「インスピレーション」となる必要があるのです。

バリー・ラシン RI 会長のテーマ講演では、変化をもたらすインパクトのある活動を通じて、ロータリーが地域社会の「インスピレーション」となることを願っていると言われました。ロータリーでは、何がインスピレーションとなるか、つまり、何が刺激となり、前身の活力となるかは、人によって違います。Inspiration は Inspire の名詞形です。Inspire は鼓舞する・刺激する・激励する・発奮させるという意味で、Inspiration をバリー・ラシンさんふうに通訳すると「刺激となり、前進する活力となる」になる訳であります。

どこでインスピレーションになるかということで、第 2760 地区の活動方針に繋がってきます。「あなたの街でロータリーを！あなたの街からロータリーを！」ということであります。言い換えれば、「あなたの街でインスピレーションになりましょう！あなたの街からインスピレーションを発しましょう！」ということであります。私はサブテーマとして、「ロータリーの奉仕の理念を学び、奉仕の実践をしよう」というふうに書いておきました。奉仕の理念とは、「思いやりの心」と「共生」です。思いやりの心とは、あなたがしてほしいことを他の人にもしてあげましょう、ということであります。共生とは、共に生きる、共に感じることで

あります。

奉仕の理念を学ぶのは例会場であります。例会の場というのは、人と人とが触れ合う所であり、ロータリアンとして集まるべき所であります。奉仕をするには仲間がいます。親睦を通じて奉仕の仲間づくりをするのであります。奉仕の理念を学ぶ機会として、他クラブの例会に出席した方が良いのではないかと私は思います。

楽しい例会にするためには、どうすれば良いでしょうか。笑いはあるが私語は無くしましょう。入会式は心に残るセレモニーにしましょう。会員のショートスピーチで和やかにしましょう。たまにはロータリーソングの2番・3番の歌詞も歌ってみてください。

私は思っています。2760地区で同じようなクラブを作ってくださいとは一言も言っておりません。高浜さんは高浜さんなり、碧南さんは碧南さんなりにそれぞれの特色を出したクラブを作ってください。全国どこ行ったら同じ花壇の花を見たくはありませんし、皆さんもそうだと思います。色んな花が咲いてこそ花壇だと言えるのではないのでしょうか。そのためにまずはクラブを活性化し、地域に役立つようにしましょう。地域を変化させるにはインスピレーションにならなくてはいけない訳であります。今日から、今からインスピレーションになりましょう。

ご清聴ありがとうございました。

謝 辞

村井ガバナーありがとうございました。

碧南、高浜と2つのクラブが合同で今日の例会を致しました。「インスピレーションになろう」というのは、なかなか難しいかなと思っております。我々は中身を我々なりに理解して今年度の方針を出していると思います。ですから、今年度の方針を皆さん方と一緒に答申してやっていきたいと思っております。

今日はありがとうございました。



鈴木康博 高浜 RC 会長

会長点鐘（閉会）



日本の ROTARY100 周年を祝う鐘

次回例会案内

平成30年10月5日（水）

クラブフォーラム「ロータリー米山記念奨学事業について」

地区米山記念奨学委員会 神谷恵理氏